

文書 要再回
 明治廿九年七月二十日 政務局長 出
 同 七月十九日 發達
 明治廿九年七月二十日 政務局長 出
 受第 九十一號
 在在在 大長
 英領事 大長
 日領事 大長
 大長
 大長



敬請 志願 諸君
 貴人 及 梅 條 等 氏 等
 念 大 片 等 果 事 總 括
 新 一 月 會 結 果 今 用
 台 辭 等 事 記 事 等
 後 等 事 記 事 等
 有 事 等 事 記 事 等

敬請 志願 諸君
 貴人 及 梅 條 等 氏 等
 念 大 片 等 果 事 總 括
 新 一 月 會 結 果 今 用
 台 辭 等 事 記 事 等
 後 等 事 記 事 等
 有 事 等 事 記 事 等

秀吉有るモノハ露軍を此地城守之泊留し得ん
モノナリ

一 露軍と修之域境界線泊留せし國スハ温股
泊留ノ意ニハ露軍が四年前街札ヲ指定
せし條約ヲ宣通スル迄ニテ國東路暫行ト
露軍駐兵軍司令部ト向ニ而住ノリト且迄
ノ指定ニ基クモノナリ

一 右露軍と修之域泊留ニ関スル出ハ日本占領
地域ヨリ露軍佔領地域内ニ向テモノハ國東路暫
行軍ニ及ズモノハ露軍駐兵軍司令部ニ
スルモノナリ

ト 參 録



独逸諸邦少通信員ナル
 退職海軍大佐独逸人ノ牙ニ
 フスタラ一 (Van Oostan) 不日
 日露兩軍台領地帯ヲ通
 過シ哈爾濱一旅行終ニ度
 トコトニ行許可ヲ此ツラシ
 旨在亦抑独逸大佐
 夕 義 生

照会有三ノ向何分
 係ノ向否也日固示
 申至 夕 義 生
 夕 義 生

Vertical lines on the right page, possibly representing a ledger or a list of entries.

明治廿九年七月二十日發
 明治廿九年七月二十日接受
 陸軍大臣
 陸軍省
 陸軍大臣
 陸軍省
 陸軍大臣
 陸軍省

明治廿九年七月二十日發
 明治廿九年七月二十日接受

陸軍大臣
 陸軍省

陸軍大臣
 陸軍省

陸軍大臣
 陸軍省

大臣 次官 政務 通商 人事 會計 取調

No. 2287

林 大臣 小幡 領事

第三一號

往電第三〇號ノ件如何運ビシヤ

芝罘 本名 著 三九七三三前八〇五

24



英 領事館
芝罘 領事館
陸軍省 電報課
九〇〇〇〇

立芝罘 長島 伴高 エラ子一ド (Eckford)
大連 祝 函 地 海 航 航 出 付 洋
の 長 島 領 事 館 小 幡 領 事 館 電
報 局 へ 送 付 玉 寄 付 分 子 領 事 館 電
報 局 へ 送 付 玉 寄 付 分 子 領 事 館 電

送分一五号、
財産表を添付
一件申す。

公第九二號

三六九三

露國人以外、外國人、我軍隊
占領区域内、出入、閉鎖、件

露國人以外、外國人ニシテ北滿洲ヲ自由ニテ我軍
隊占領区域内、出入セントスルモノ、任ニ其許否ヲ管轄
官合ニテ決定スル。有ルモノ、處方ニテ六月八日付電
示被シ基テ何等ノ制限ナク自由ニ出入シ許サルベキニ
ト思料致ス。然レ尙モ又同月八日付送英一
五号發信書文、右以外、自的ニ以テ南東總督
管轄区域内、海航セントスルモノ、亦一概外國人ヲ
包含シタルモノニテ、結テ特別ノ許可ヲ俟テ初メテ
入シ得ルベキモノ、有ルモノ、表シ果シテ前段ノ如ク露

上掲明書ニ示シテ

三六九三

政務司

0215

5-0401

國人以外、外國人の自由出入を許さざる場合、其
旨を各邦領事館に通知せしめ、彼等が申進する結果
明治三十八年七月七日

在浦潮

貿易事務官川上俊彦

外務大臣子爵 林董殿

陸軍省 送達 第三〇二二號

陸軍省 送達 第三〇二二號

陸軍大臣 菅野直 謹啓

之類は、() 事務始末に關し、其の必要に
依りて、各邦領事館に通知せしめ、彼等が申進する結果
明治三十八年七月七日

陸軍省 送達 第三〇二二號

5-0401

0216

明治 年 月 日 起 草
 同 日 發 清

主 体

電送第一七六八號
 明治廿九年七月廿二日 午後五時

手文

浦上 林

此九二日午後信ニ付
 四軒子街のハルカチヨリ
 西子街人並ハハルカチヨリ
 北端街ノ主

Handwritten text in Japanese and English, including names like "L. M. ...", "L. M. ...", and "L. M. ...".

Handwritten text in Japanese, including "浦上 林" and "手文".



我在此正域内... 職業又... 通行... 東軍司令... 海路... 閣下...

明治三十八年七月二十四日
 同... 日... 24
 在布... 大...



有破陳者元查國事務
官工三ル、フサツシエル」氏振順及
大連ハ、前従方ノ儀ヲ就テ、
月十八日附第三三一号費
籍ヲ送ラシ申越テ、
致取一、右ノ早速陸軍
大臣ハ、及後艦年一、
愛

辭可ノ上別我振順
可征在大臣ヲ廻付有
年ニ付在ハ、左ノ轉送
尙令氏ハ、リニ交ハ、
此出者、
前信受一三七号附屬辭可征據



明治 同 月 日 起 草
 日 發 請

16
 本 野 庭
 林 七 五
 電 送 第 1776 號 295
 明 治 37 年 11 月 26 日 5 時 0 分 發

件 未 了 迄 不 取 付 日 三 日 止

本 野 庭

Vertical lines for text entry, mostly blank.

5-0401

0220

得心之多少ハ其ノ結果目下不
人ノ南滿洲ニ在リ他ノ人ニ此
者ニノ不利者ノ地位ニ立チ去
不給不紅船カ在東口大東滿
スルノ協利ヲ有セサルニテ又
是南滿洲内地ヲ旅行スルノ自由ヲ

有ルニハ俄ニ其ノ多クナリ去
九月一日以後ニテ江蘇ニ於テ
開放ヲ遂行スルニ至リ去
利益ニ至リ一層顯著ナルモ
至ルニ至リ大連ノ開放ニ拘
不給不紅船カ在東口大東滿
スルノ協利ヲ有セサルニテ又
是南滿洲内地ヲ旅行スルノ自由ヲ

鐵道地ニ於テ旅行ノ自由ヲ有
スルニシテ又強國財力ニ對シテ
對等ノ象ヲ見ル自由ニ以テ地
方ニ對シテ
西國現在ノ親交ニ鑑ミ特ニ
不ノ討シ此ノ如キ待遇ヲ受
ル日ハ必ズ有望也

西手衛見書ノ規定ヲ廢止シ西國
ニ對シテ
不ノ討シ此ノ如キ待遇ヲ受
ル日ハ必ズ有望也

日本郵船株式會社
 船名 津島丸
 船種 郵船
 出帆 九月廿一日
 寄港 上海
 代理 上海
 船主 津島丸
 船長 津島丸
 船員 津島丸
 船客 津島丸
 船貨 津島丸

達滿發第一〇〇八〇號
 第一三九〇號
 日本郵船株式會社
 船名 津島丸
 船種 郵船
 出帆 九月廿一日
 寄港 上海
 代理 上海
 船主 津島丸
 船長 津島丸
 船員 津島丸
 船客 津島丸
 船貨 津島丸

此等許可証は
 僅て之を證明するに
 用ひしるべし

Handwritten text in a cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or location.

Large block of handwritten text in a cursive script, possibly a letter or official document.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature.

Handwritten text in a cursive script, possibly a signature.

Handwritten text in a cursive script, possibly a date or location.

第一三五號

渡航許可證

陸軍

在芝罘 英國人 エリフカード

右 在芝罘領事 國ノ照會ニ依リ關東總督管轄

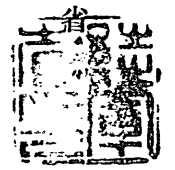
内ニ退去ノ際開地ニ殘留シタル私有物件ノ調査

視察 處分又ハ撤出ノ爲左記ノ條件ヲ以テ大連ニ渡航ヲ

許可ス

明治三十九年七月二十六日

陸軍



一本許可證ハ渡航者ニ於テ常ニ携帯シ軍衙ノ請求アルトキハ何時
ニテモ提示スヘキモノトス
一渡航者ハ關東總督管轄地域内ニ在留中其地ヲ管轄スル帝國軍衙
ノ定メタル規則及命令ヲ遵守スヘキモノトス

明治二十九年七月二十六日檢
陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 菅 敏務 閣

陸軍省 滿發第 三〇八六 號

受 三〇八六 號

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 菅 敏務 閣

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 菅 敏務 閣

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 菅 敏務 閣

福地 陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 菅 敏務 閣
ウ 海軍省 海軍部 海軍大臣 山本 武揚 閣
越 右 海軍省 海軍部 海軍大臣 山本 武揚 閣
東 海軍省 海軍部 海軍大臣 山本 武揚 閣
北 海軍省 海軍部 海軍大臣 山本 武揚 閣

廿九年七月二十六日檢
陸 軍

NO.106.

British Embassy,
Tokio,
July 26, 1906.

Monsieur le Ministre,

I have the honour to solicit Your Excellency's good offices in obtaining a permit for Mr. J. Williamson Jones, a British subject, to visit Port Arthur and Dalny. Mr. Williamson Jones, who is Agent at Yokohama of the Chartered Bank of India, Australia and China, is about to visit Corea for business purposes, and wishes to take the opportunity of being in the neighbourhood to visit places of such historical interest. He is anxious, if possible, to obtain the necessary permits by the 31st instant at the latest.

I avail myself of this opportunity, Monsieur le Ministre, to renew to Your Excellency the assurance of my highest consideration.

Claude Macdonald

Ambassador.

His Excellency,

Viscount Hayashi Tadasu,

H.I.J.M.'s Minister for Foreign Affairs,

&c., &c., &c.,

Tokio.

明治三十九年七月二十六日接受

外務省

受席

三ハ

中

5-0401

0226

郵便 第一九号 電話第二一三 エソフオード 大連海航 件許のせえ	在野 カ 中 飲 事 大臣	明治 年 月 日 起草 日 發送	1781 號 39 7 27 24
		同 年 月 日 起草 日 發送	

5-0401

0227

Vertical lines with faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

明治三十九年七月廿七日起草
 同 日發遣
 明治卅九年七月二十八日檢
 48 7 善立 校正
 主任
 寺内隆平大瓦 氏
 林大瓦
 英人 ジョーンズ 旅次大連前往
 出船ノ件
 第五八〇號

5-0401

0228

英人 ジェー・ウキヤムン・ジョーレス (J. Williamson)
 (London) より旅費大連前送出款~~の~~出
 付~~の~~許~~す~~ （イロイロ） 在 本邦英領大使より
 有~~る~~ 公使~~の~~ 共同人ハ「名」タード~~ハ~~ 銀行
 横濱代理人ニ有之今同商用~~の~~ 大連
 旅行~~の~~ 概~~の~~ 利用~~シ~~ 序~~に~~ 旅費大連
 芽見~~の~~ 親~~の~~ 送~~の~~ 出~~の~~ 出
トウニ付

未得~~可~~シ~~ハ~~ 本月三十日迄~~ニ~~ 必要~~ノ~~ 許~~シ~~ 証
 有~~之~~ 大~~同~~ 商~~用~~ 証~~書~~ 上
（イロイロ）
 何分~~ノ~~ 商~~部~~ 同~~人~~ 有~~之~~ 亦~~ハ~~ 送~~出~~ 及~~シ~~ 出~~金~~ 大
（イロイロ）

ト 券 自



表し且^フアラソシ^ン韓國へ赴任ノ上ハ決シテ露國政
府ノ宣言ニ違背セサル様充分ニ注意ヲ加フヘキ旨
訓令スヘク着レ又^マガ^カ萬一之ニ違背スル様ノコト
アラハ直ニ相當ノ處分ヲ施スヘシト云ヘリ

大臣
次官
○政務
通商
人事
會計
取調

No. 2361

林 大臣 川上事務官
六月八日 渡貴電ニ関スルコトハ
愈々
来ル八月一日ヨリ 決行セラルコトナリ
シヤ
浦留茂 三九七三〇 前二〇、九〇
本省著 後一〇〇



5-0401

0232

明治三十七年七月廿七日
 在布和
 独逸代理大使宛
 大臣
 独逸人トシニフスナド南河通
 出吟示者付紙出ノ件回答
 小 答 自

29

大書簿

68

以書翰致致之、陳者貴國
 退後海軍大佐、フセ、ポスタウ
 氏、浦河、ラ、道、名、ハ、雨、着、ハ、旅
 引、ハ、備、ハ、就、ハ、本、月、十、六、日、附、
 九、六、早、ハ、貴、翰、ヲ、以、テ、以、テ、
 趣、致、致、致、一、右、ハ、早、速、
 陸、軍、大、佐、一、及、後、牒、年、一、處

浦河に於ける日露兩軍在領區
 域通過に關して、關東總督府ト
 露兵極東司令部と、部ト、向、
 取極メタル最近ノ協定ニ基キ、
 日本軍在領地域ヨリ、
 地域ヨリ、露兵在領地域内、向、
 者、關東總督府、不該者、
之、及、之、ハ、者、

唐王極東軍司令、發出
フキコト、本軍及母の件
件、其の同氏に於て、
其東總督、發出、
我旨、左大臣ヨリ、
同右、其の系、
其、其の系、
其、其の系、

唐王極東軍司令、
發出、

ト
子
會

5-0401

0236

明治 同
 年 月
 日 起
 日 迄

油塩
 川土市

林古之

主任

七月三日
 寄書
 付

39 7 31

LÉGATION
D' AUTRICHE-HONGRIE.

Nr. 342

Tokio , le 30 juillet 1906 .

明治三十二年七月三十一日接読

管 政務局

廿九年八月七日
受第一四二二四號
送付了

Monsieur le Ministre ,

Mr. Stempski , capitaine de l' Etat Major austro-hongrois et Madame Stempski , qui se trouvent actuellement au Japon et ont l'intention de se rendre ensuite en Corée et en Mandchourie , m'ont exprimé le désir de profiter de leur passage par Tairen pour visiter aussi Port Arthur .

Déferant à ce désir , j'ai l'honneur de recourir aux bons offices de Votre Excellence en La priant de bien vouloir s' intéresser auprès des Autorités Militaires Impériales afin qu' elles veuillent gracieusement donner l'autorisation à cet effet à Mr. le capitaine et Madame Stempski . Leur visite projetée à Tairen et Port Arthur aurait lieu dans l'espace du 25 août au 8 septembre prochain .

En attendant qu'il plaise à Votre Excellence de me faire obtenir une obligeante réponse à ce sujet , je saisis cette occasion pour vous renouveler , Monsieur le Ministre , les assurances de ma plus haute considération .

A Son Excellence
Monsieur le Viconte Hayashi ,
Ministre des Affaires Etrangères ,
& & &

5-0401

0237

支那海峽

支那

アムステルダム

支那海峽

支那海峽の上下の間に下りて、海峽を

澳地利、ギリヤ、大尉、ステンブスキー氏

並に、口夫人、韓子、及、滿州、へ、海航、を、行、は、し

大連、海、道、を、機、會、と、し、利、用、し、て、旅、の、口、口、を、

支、那、海、峽、に、申、り、出、る、新、た、な、海、道、を、

支那海峽

不陸軍一守衛官、白紙一冊、
 キー大尉、并、白夫人、
 可、
 連、
 ハ、
 保、
 手、

明治二十九年八月二日接受
 陸軍省 滿發第二二二號
 送
 天津駐在米國領事館
 軍官領地、
 東、
 三、

5-0401



Handwritten text in a cursive style, likely a letter or official document. The text is written vertically from right to left.

Handwritten text in a cursive style, continuing the document. The text is written vertically from right to left.

Small vertical text on the left side of the document, possibly a date or reference number.

Small vertical text on the left side of the document, possibly a date or reference number.

5

Handwritten text in a cursive style, likely a signature or official seal. The text is written vertically from right to left.

Handwritten text in a cursive style, likely a signature or official seal. The text is written vertically from right to left.

東の甲、台、城、河、道、一、帯、に、德、我、の、交、渉、が、
 着、手、時、の、あ、り、且、抗、り、素、に、海、兵、を、入、り、あ、り、
 言、ひ、抗、り、考、へ、し、る、に、付、て、は、経、道、を、せ、し、ま、又、
 一、百、一、名、守、り、に、本、國、志、ノ、場、合、に、其、抗、り、計、画、ヲ、
 考、更、せ、し、ル、ノ、お、り、感、情、ヲ、抱、か、し、た、ル、者、多、ク、
 若、し、海、兵、道、に、お、り、可、成、速、カ、ニ、海、兵、の、お、り、福、救、
 之、反、正、無、合、な、り、也、
 此、ノ、事、國、信、領、事、抗、り、に、關、シ、テ、は、十、日、三、果、領、
 事、ヲ、リ、米、國、信、領、事、ハ、當、府、に、お、り、テ、ス、大、連、
 ヲ、直、ニ、出、り、シ、タ、ル、コ、ト、及、十、日、第、十、四、師、團、
 長、湯、長、ヲ、信、領、事、等、に、十、日、三、日、前、日、子、

信、領、事、田、中、武、吉、一、等、に、關、シ、テ、は、接、し、不、可、放、
 意、國、檢、査、軍、の、入、部、に、米、國、信、領、事、等、
 一、面、に、お、り、テ、は、コ、ロ、シ、テ、申、出、し、一、方、ハ、
 公、正、な、守、衛、の、條、に、抗、り、考、へ、し、其、地、に、
 何、の、一、等、に、お、り、テ、は、米、國、信、領、事、等、
 等、に、關、シ、テ、は、海、兵、道、に、お、り、テ、は、生、者、
 シ、タ、ル、由、に、お、り、テ、は、海、兵、道、に、お、り、

陸軍 第一〇九号

陸軍大臣 青田 爲

陸軍大臣 青田 爲
陸軍大臣 青田 爲
陸軍大臣 青田 爲

陸軍部 達 第一〇二八号

陸軍大臣 青田 爲

陸軍大臣 青田 爲

陸軍部 達 第一〇二八号

陸軍大臣 青田 爲

陸軍大臣 青田 爲
陸軍大臣 青田 爲
陸軍大臣 青田 爲
陸軍大臣 青田 爲

陸軍

Tokio,
August 1. 1906.

No. 109

明治三十九年八月二日接受

王管政務局

一
四
六
之
要
目
付
了

Monsieur le Ministre,

I have the honor to solicit your Excellency's good offices in obtaining permission for Mr. F. O. Meule, representative of the well-known engineering firm of Messrs Ransomes Sims and Jefferies, Limited, of Ipswich, England, to visit the port of Dalny as soon as possible for purposes of inspection.

Thanking you Excellency in anticipation, I take this opportunity, Monsieur le Ministre, to renew to you Excellency the assurance of my highest consideration.

His Excellency

Niikuni Hayashi

42 42 42

M. J. M. Minister for Foreign Affairs.

Clarendon

M. P. S. Ambassador.

明治二十九年八月一日

機密 二九

英國宣教師「リタリー」周スル件

リタリー

1869

目下當奉天ニ在任スル英國宣教師「リタリー」(J. Farley)
 去年バイブル協會ノ代表者トシテ當地ニ居住シ吉林長
 春等ニ該協會ノ出張所ヲ有スル趣ナルが頃日本官
 ラ未訪シテ露國占領時代ニ於テ種々便宜ヲ興ヘラレ
 汽車ノ自由乘車等ヲモ許カシムル事定メテ詔リタル後
 戦後以來右兩地ニ出張所ヲ巡回スル一能ガリシが今
 固愈々長春近ニ鉄道日本ノ手ニ歸スルトナリタルニ

5-0401

0244

付之、本年十月頃同地巡回、遂上り度自由來車、
 特與之希望、アラスカモ我官憲、於之其際相當、
 便宜之與、之度今日、之總領、置之度旨、
 出之就、之露西且台領時代、振合、有之、故一可成
 同人、希望、副之、極其勸、少協議、遂ケラレ、極致度右
 及、稟申、其、故、具、

明治三十九年七月二十五日

在奉天

總領事 森島守一

外務大臣子爵村林董殿



文書課

明治三十九年八月二日

日 起 替
日 發 遣

送第九ノ一

在本邦

美國大使宛

大臣

美人四ヨリスル大行

許可ハシ

ト 女 目

以書翰致之
 陳兵貴
 國人
 ツエー、ウヤリヤラシ、ビョーレス、氏
 旅順及大連前線方ノ儀、
 初々、五月廿六日附、第一〇七号
 貴翰ヲ以テ、以テ、越ノ、致、致
 致、承、一、右、ノ、陸、軍、大、臣、ノ、
 及、後、様、年、一、處、許、一、の、ノ、
 父、親、生

別我後、既、許、一、の、証、令、大、臣、ヨリ
 廻、付、有、之、一、一、付、送、之、及、以、
 轉、送、一、向、左、氏、一、以、交、付、
 本、以、及、此、如、貴、等、奉、布、
 大、臣、の、在、こ、重、一、下、一、向、一、致、
 意、一、表、一、致、也、
 別、信、箋、一、四、一、九、号、附、属、許、可、
 大、臣、
 旨

明治三五年 八月三日 日 起 草
 日 發 清
 陸軍大臣 林 虎
 英 正 人 老 一 山 三 郎 大 陸
 前 往 出 航 件
 送 第 一 九 六 號
 明治三五年八月三日 日 發 清
 71
 24

証 書
 夕 暮 時

5-0401

0247

イギリス領
 英領 香港 所在 工業会社 (Memorandum)
 Ransomed Bime and Japanese 代表者
 J. O. M. H. L. 親筆
 前任 度 越 出 致 謝 詩 可 書
 度 キ 旨 在 本 邦 英 領 大 使 署 照 会 有 之
 大 同 大 陸 海 上 何 分 係 法 西 各 本 邦 諸 島
 設 限 公 司 也

Kaiserlich
Deutsche Gesandtschaft
Botschaft

Tokio, den 3. August 1904

Nr. 101.

Herr Minister,

Wie Euerer Exzellenz bekannt sein dürfte, wird dem verflorenen Japanisch- Russischen Kriege vom Standpunkt kriegswissenschaftlicher und kriegsgeschichtlicher Forschung seitens der deutschen Armee lebhaftes Interesse entgegengebracht. Es steht hiermit im Zusammenhang, dass zwei Offiziere des deutschen Besatzungsdetachements in Nordchina, Oberleutnant Schröder und Leutnant Tafel, den Wunsch hegen, den Kriegschauplatz in der Mandschurei und die Halbinsel Liaotung mit Port Arthur zu militärgeschichtlichen Studienzwecken in der Zeit vom 1. September bis 15. Oktober dieses Jahres zu besuchen. Dergleichen haben die Leutnants Petri und Schneider desselben Detachements den Wunsch in der Zeit vom 1. bis 30. September dieses Jahres eine von den beiden obigen getrennte Reise nach der Südmandschurei auszuführen.

Euerer Exzellenz wäre ich zu besonderem Danke verpflichtet, für Herbeiführung der Erlaubnis zum Besuche des japanischen Pachtgebiets von Kwangtung mit Port Arthur durch die beiden erstgenannten Offiziere, falls hiergegen keine Bedenken bestehen sollten. Ferner bitte ich um eine sehr gefällige Auskunft darüber, ob es für die genannten Offiziere für Bereisung des von japanischen Truppen besetzten Teiles der Mandschurei einer besonderen

Seiner Exzellenz
dem Kaiserlich Japanischen Minister der Auswärtigen Angelegenheiten
Herrn Vicomte Hayashi Tadasu.

明治三十九年六月四日接受

召見武官戰地視察希望(件)

主官 政務司

受第 1233 號

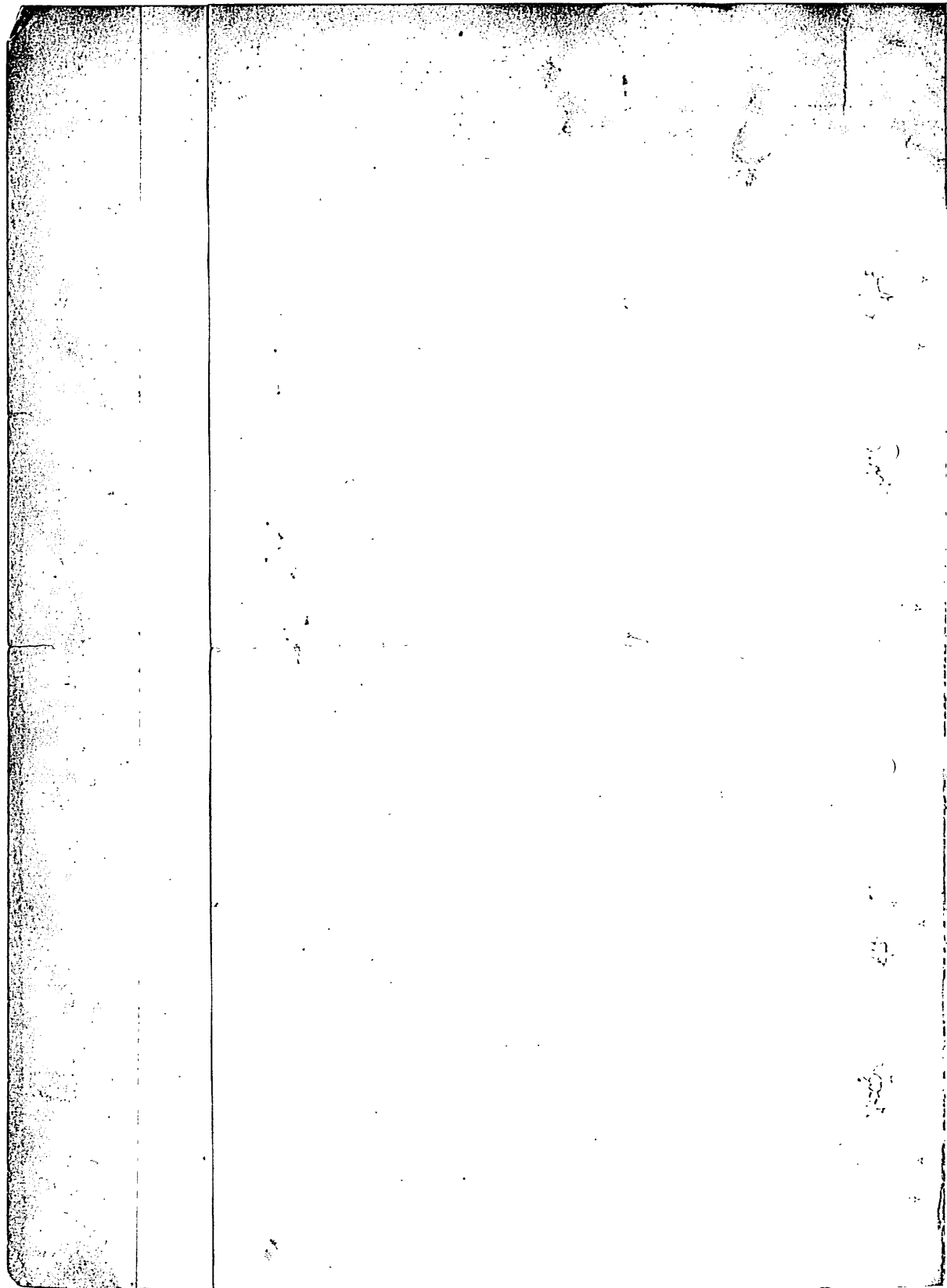
5-0401

0249

Genehmigung der japanischen Behörden und der Ausstellung besonderer Ausweispapiere bedarf. Gegebenenfalls bitte ich um Erteilung einer solchen Genehmigung und um Ausstellung der betreffenden Papiere. Ich bemerke noch, dass die deutschen Offiziere ihre Reise selbstverständlich in Zivilkleidung zu machen beabsichtigen.

Genehmigen Sie, Herr Minister, die erneuerte Versicherung meiner ausgezeichneten Hochachtung.

von Eckert.



5-0401

0252

明治 年 月 日
同 同 同
日起算
日發遣

第百一號

主任

山本

一千九百零六年八月三日

フオニ・エルケルト

日本帝國外務大臣子爵林董閣下

以上欄内記述上は陳者最、日露戦争の最

初、之、閣下、参事、及、戦史、研究、上、指、込、陸、軍、手、

外務省

5-0401

0253

多大に注意を以て迎へるべき事、今般北清招撫
 守備隊附三將校戦史研究を、本年九月
（中尉に昇進し、少尉に任ぜられた）
 一日より十月十日迄、同に於て滿洲の戦場系三遺
 東米島（林順ヲ念ニシテ）秋田に在る所あり、又同隊
 附少尉ペトリ及びシナイデルノ両名、同九月一日より
 迄、同に於て日露の戦場ヲ以テ、戦史研究將校トシテ、
 南滿の地ヲ旅行し、其の所見ヲ有リ、其就テ右ノ圖ニ

若シ何處の所ニ在リ、其ノ故ノ初ニ記載シテ
 二將校ニ對シ、貴國、國策租借地（林順ヲ念ニシテ）
 行ノ件、亦許可有リ、様事、此處ヲ想ハシ、
 其附ニ在リ、之ヲ將校ニ對シ、其地ニ將校滿
 洲ニ於テ、貴國軍隊占領ノ部分ヲ旅行シ、其
 貴國軍隊、特別に許可及特別に証書
 ヲ發シ、之ニ有リ、其外、其ノ同交、若シ之ヲ發スル

本ト也ハ作所手題許可証明書其由授與有書
 惟 本所 係法外計有之故而右ノ持校管
 名簿平眼等 越所ノ管有之於此後申係
 本所 係法外計有之故而右ノ持校管
 本所 係法外計有之故而右ノ持校管
 本所 係法外計有之故而右ノ持校管

明治三九年八月三日 起時
 陸軍大臣 死
 大臣
 今子直教 師
 待過 振 實 元 伯
 24

5-0401

0255

多年來奉天ニ居住シ吉
 林長春等ニ出張シ出張
 所ヲ有スル英國宣教師
 ターレーン (G. Jambury) 次
 日在奉天
 天秋原総領事ヲ往訪シ
 露子白銀時代に在リ
 後ノ
 便宜ヲ興テシ機車ノ自由
 電車

業ヲモ辭サシタリシ事
 實ヲ
 語リタル後新役以奉
 天右兩地
 ノ出張所ニ永ク巡回ノ
 權ヲ得サ
 リシ事今更ニ長春近ノ
 處
 迄日本ノ年ニ歸スル
 事トナリタル
 事
 十月頃同地巡回
 心算ナルニ自ラ自由
 電車ノ

明治三十九年八月廿二日
同 同 日 起 帶
日 發 清
 陸軍大臣宛
 大長
 櫻井大尉
 乃予り加スヤ
 旅大所發出ノ信
 本 券 自
 五九九
 24

夕 影 集

5-0401

0258

目下本邦滞在の中ナル頃作秘
 洪名参謀大尉スラムコムキー
 (Mr. Stenback) ヨリ八月廿五日ヨリ
 九月八日迄ノ尚、(青眼)正確ナ
 事、皇夫人同送ニテ韓国又
 降、(南)大連ヲ経テ旅順へ
 返航方致、少一趣リ以テ

件アリ、各皆在、本邦
 準備、各、使ヨリ、照会、有、立
 以、旬、何、分、ノ、趣、以、回、答、也
 (の、趣、以、回、答、也)
 以、友、は、あ、ら、う、思、存、也



明治三十一年 八月 七日 起 草
 同 月 日 發 達

見合也

在在卸獨逸不大使 林本佐

獨不士官滿洲昇地視察

希望人任

小 券 自

夕 券 自

(Faint handwritten text in vertical columns)

5-0401

0260

以吉翰致啓上伏陳者貴玉北清守備
 隊附中尉シロランノ外將
 校三名戰史研究爲々滿洲地方旅行
 左本度件ニ关シ本月三日附第百一号
 貴翰。以テ却照合ノ趣故函致ス然
 三南滿州一帯ニ关スル租地ニ其ニ
 月一日以後開放セラルル事ニ
 帝國政府
 大連ニシテ航空ニ関スル租地ニ其ニ
 撤回スル事ニ
 四月

又其地ノ南滿洲地方ニシテ
 外國人ノ旅行ニ對シテ何等ノ制限ヲ加ヘサル
 事ニ對シテ付キ。右旅行ニ関シテハ
 別ノ許可并ニ許可証ヲ要セザルモノト御
 承知相成度大ニ尤モ帝國政府ニ特
 別ノ便宜ヲ受ケテ御ノ度希望ニ有
 之テハ其趣其節ノ照合可致大間更
 其儀御申越スル事ニ格別意大ニ在
 〇分

答 岸本大臣ハ茲ニ重ホテ閣下ニ向テ敬
意ヲ表シテ致ス

陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス
陸軍大臣ニ奉答ス

陸軍省 満發第一一九九號

昭和九年八月廿日

陸軍大臣ニ奉答ス

文部大臣ニ奉答ス

英國イギリス及びシエラレオネ
代表者ヨリ此ヨリ大連港ニ於テ
送迎スルニ至リハ且テ送迎スル
紙片ヲ送付スルニ至リハ且テ送
迎スルニ至リハ且テ送迎スルニ

陸軍

陸軍(陸軍)
No. 23.

August 9, 1906.

明治三十九年八月九日接受

文第一四六二四號

154

Monsieur le Ministre:-

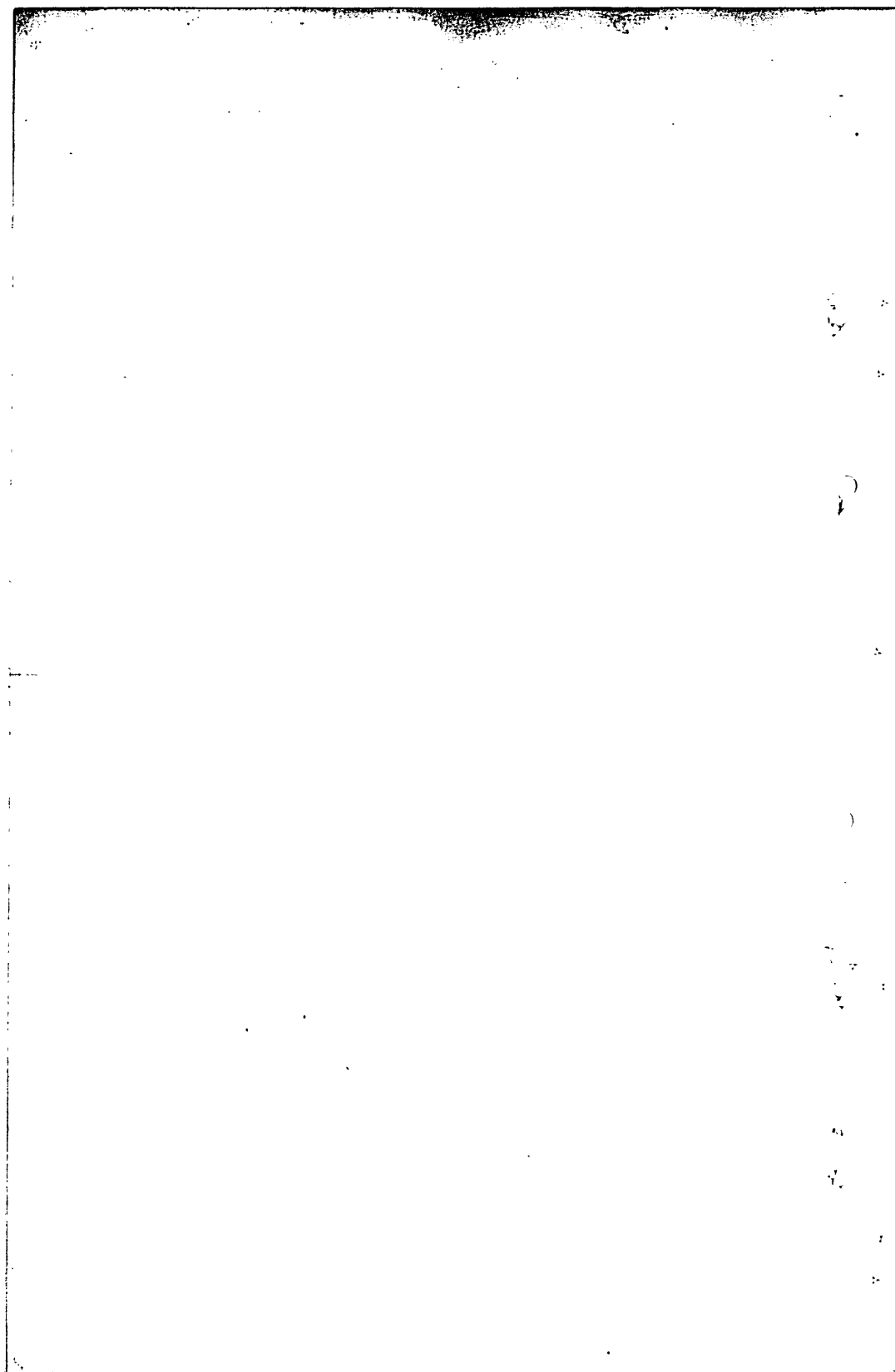
I have the honor to request that Your Excellency will kindly cause the issuance, at as early a date as may be convenient, of permission for Mr. Albert A. Blanchard, an American citizen, accompanied by his Japanese interpreter, Mr. Seiji Shinzaki, whose address is care of the Welcome Soci-
ety,

To His Excellency
The Viscount Hayashi,
His Imperial Japanese Majesty's
Minister for Foreign Affairs

ety, Tokio, to visit Korsakoff, on
the island of Saghalien.

I avail of this oppor-
-tunity to renew to Your Excellency
the assurances of my highest con-
-sideration.

Wm. E. Whynell



5-0401

0265

同 漢 公 出 口 發 出 口 出 出	手 形 (印) 手 部 手 部 手 部	手 部 手 部 手 部 手 部	手 部 手 部 手 部 手 部	手 部 手 部 手 部 手 部
------------------------------	-----------------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------

明治廿九年八月九日接受
 此

5-0401

0266

British Embassy,
Tokio,
August 9, 1906.

Dear viscount Hayashi,

With reference to my Note of the 1st instant re-
questing permission for Mr.F.O.Moule to visit the port of
Dalny, I have now heard from Mr.Moule that he is equally
anxious to visit Port Arthur and I should be very much ob-
liged if Your Excellency would use your good offices in
obtaining permission for him to visit that place also.
Mr.Moule wishes to visit Port Arthur for the same purposes
as Dalny, and as he intends to leave Japan on the 13th in-
stant, he would consider it a great favour if the permit,
if granted, could be sent to him as soon as possible.

I beg to return the permit to visit Dalny in case it
should be required for alteration.

Regretting to have caused Your Excellency so much
trouble,

Believe me,

Dear Viscount Hayashi,

Yours sincerely,

Claudio...

H.E. Viscount Hayashi,
&c., &c., &c.,
Tokio.

明治三十九年八月九日接受

受第一〇六二八號

明治三十九年八月十日 起草
 八月十日 發遣
 陸軍大臣 林大尾
 英正人等の旅費を達前に出
 願件
 文書部
 主任
 24

5-0401

0269

本月三日
 送第百九十六号及御照合头甚不
 人台ハ大連前住出取ノ件ニ美ノ同人ハ
 旅順前住取度ニ付渡航許可証者
 替方更ニ出取致シ之ニ並ニ同人ハ本
 月十三日日出取致度由ニ付右者替
 在付头ニ於テハ可成急ニ許可証ノ送附
 ヲ希望ス旨在本邦莫不大使ノ

照合有之文同御詮議ノ上至急何分ノ御
 御回答五本御取致及御照合出取
 通而既先済セ之旨向ハ大連行ノ許
 可証計中ノ及成送附
 者等ノ力



明治三十九年
 八月十九日
 起草
 日發達
 陸軍大臣
 大佐
 半人
 アルバート・エーサ・ブロンサード
 氏に對し許可証附書
 年

文書部長

主任
 學

24

5-0401

0271

本心アハハート、エケ、ブシ、カ、ド
 (Sankhara) ... 日本更... 徳...
 伴... 波... 航... 航...
 難... 難... 難... 難...
 西... 相... 成... 夜... 山... 松... 及... 神... 地... 尊... 心...

明治三十九年八月十三日接受

書

三十一

おのれ目二の附三

百四十ニ多り以て廣

三十一

5-0401

0273

有之者乎下河子教
九河内教ヲ賜ハリ
守切部員 賀
道ニ如儀ハ在難其
公使ノリ書給ハルモ
是レモ年々其ノ
此下河子教シ
切年其ノ書ニ
下河子教

國史館蔵

外務省
ニテ
ニテ

5-0401

0276

明治三十九年八月十三日接受 陸軍省

陸軍省 陸軍部 送達 満蒙 第二二二二 號

一四七三三

明治三十九年八月十日

陸軍大臣寺内正毅

大分縣大分市 齋藤 兼成

送第五九九号の如く日本郵船株式會社に於て
横濱國定郵便局に於て郵便物の運送に際し
于該船の海統部に出る郵便物の運送に際し
在該船の海統部に出る郵便物の運送に際し

陸軍

郵便

Handwritten Japanese text in cursive style, likely the main body of the letter.

Handwritten Japanese text, possibly a signature or a specific address line.

Handwritten Japanese text, possibly a name or a specific address line.

明治三十九年八月十三日

郵便

1日4カ

明治廿九年

八月

廿

日

発

日

受

24

再四ノ要ス

送第

Handwritten Japanese text, possibly a name or address.

Handwritten Japanese text, possibly a name or address.

Handwritten Japanese text, possibly a name or address.

Handwritten Japanese text, possibly a name or address.

5-0401

0278

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

興業...
 聯...
 フス...
 航...
 考...
 子...
 修...
 有...

以...
 考...
 丁...



Trinquart

V. B.

送第

三

十

封

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur d'accuser réception
à Votre Excellence de la lettre N° 342
en date du 30 juillet dernier que Elle
a bien voulu m'adresser au sujet

de la visite à Cairen et à Port-Arthur
en passant par la Corée, projetée par
M^r Stempski, Capitaine et Etat Major
Autro-Hongrois, accompagné de sa femme.

Le Ministre de la Guerre à qui

Je vous prie d'adresser
Monsieur Albert d'Ambré,
votre dévoué

5-0401

0282

je n'ai pas manqué de m'en référer im-
médiatement, venant maintenant à en
accorder l'autorisation, me fait tenir
un permis que vous trouverez ci-joint.

En vous priant donc de vouloir
bien le faire parvenir au destinataire

je suis l'occasion pour vous remercier

Monsieur le Ministre, les assurances

avec très haute considération.

Armand T. R.

Vertical text at the top of the page, possibly a date or reference number. Includes some illegible characters and a signature.

Vertical Japanese calligraphy on the right page. The text includes:
 拜知在者... 日... 月... 日...
 ... 及 ... 許 ... 上 ...
 ... 及 ... 送 ...
 ... 此 ... 及 ... 回 ...

Vertical Japanese calligraphy on the left page. The text includes:
 日... 年... 月... 日...
 ... 及 ... 回 ... 及 ...
 ... 及 ... 回 ... 及 ...
 ... 及 ... 回 ... 及 ...

陸軍 (Army)

皇太后陛下
御覽
拜賀
皇太后陛下
御覽
拜賀

皇太后陛下
御覽
拜賀

皇太后陛下
御覽
拜賀

皇太后陛下
御覽
拜賀

陸軍

5-0401

0286

Handwritten Japanese text, likely a letter or report, written in vertical columns from right to left. The text is dense and appears to be a formal communication.

Handwritten signature or name in Japanese characters, located below the main body of text.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, located below the signature.

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, located at the bottom of the page.

向附三十九年八月十六日接受 陸軍省

陸軍省 送達 満發第 三二九九 號

受第 一四九三〇 號

Handwritten text, possibly a date or a specific reference, located in the middle of the page.

陸軍省 陸軍部 陸軍省 陸軍部

Handwritten signature or name in Japanese characters, located in the middle of the page.

Main body of handwritten Japanese text, written in vertical columns from right to left. The text is dense and appears to be a formal communication.

第九軍 第八二二五 陸軍

5-0401

0287

大臣 菅野 二五五九
No. (昭二四〇)

林外務大臣 本野公使

露新参 十九日午後四五、
本参着 十七日午後一五、

次官

政務

通商

人事

會計



昨日 外務大臣、面會ニ四平街 覚
書ノ件ニ付露政府 回答ヲ送シタ
ルニ未ク 確答ヲ與ヘ得ルノ 運ニ
至ラスト 言ヘリ 同大臣ノ 口氣、依
シテ 日露 兩軍ニ 於テ 滿州 占領中、
双方 兵軍 政行ハル、ニヨリ 日露 兩
國 臣民ニ 於テ 万一 違法ノ 行為アリ

秘 上 總 陸 海 参 軍 四 死

明治三十一年八月十六日發給

Handwritten Japanese text and signature: 菅野 二五五九

タレ場合ニハ軍事的制裁ヲ受ケ
サレハカクサレハク後ニ双方ノ感情ヲ
害スヘキ事變ノ生スルヤモ許リ難
シ就テハ兩軍全ク滿州撤退ノ時
(去年四月)迄今日ノ俟、致置ル方
双方ノ利益ニハ非サレハキヤトノ語氣
ヲ洩ラシ且今日ノ處ニテハ租借地共
南滿州ニ於テハ外國人ノ果シテ如何
ナル裁判權ノ下ニ支配サレ居ルヤ此
点ニ付種々質問ヲ受テ答弁、苦ニ
居ルニ付在ノ状況承認シテト言ヘリ

右ノ次第ニ付露國政府ニ於テハ南
滿州ニ於テ他外國人ト異リクハ所
扱ヲ受ルルモ係ハノス四手街覺書
ハ当分ノ内其供ニ致置クキ意向
アルハ明ナルモノ、如シ南次回會見
ノ節更ニ速ニ決定ノ必要ヲ説クハ
キ積ニ付右裁判權ノ問題ハ租借地
ノ内外、於テ現在如何ナル有様ナル
ヤ至急御報知ヲ乞フ

明治三十九年八月十七日 發行
 同 三十九年八月十七日 發行
 在事夫
 秋原總領事
 英國宣教師
 對之待遇
 振三周之例
 主任
 林大臣
 6
 下 次 頁

在考地英園宣教沙示、夕
 一レレ、對ス、待遇振、件、
 関心、案月二十五日附紙密第
 六九号ノヲ以テ、以、稟申、
 陸軍大臣、及、照會、
 安同人、對シ、相、當、便、宜、
 共、ニ、採、取、計、
 案、
 左

父 親 生

大臣ヨリ、回、答、有、之、
 採、取、計、
 案、
 左

父 親 生

父 弟 生

Vertical columns of faint handwritten text, likely a letter or official communication.

明治三十九年八月十七日接受

陸軍省 陸軍部

陸軍省 陸軍部 陸軍大臣 寺内正毅 奉 陸軍大臣 寺内正毅 陸軍部 陸軍大臣 寺内正毅 陸軍部 陸軍大臣 寺内正毅

明治三十九年八月十七日

受第一五〇二九號

陸軍大臣 寺内正毅

外務大臣 子爵 林 董 收

外務大臣 子爵 林 董 收
 陸軍大臣 寺内正毅 陸軍部 陸軍大臣 寺内正毅 陸軍部 陸軍大臣 寺内正毅

陸 軍

5-0401



此の如く一先極秘に扱ふべし
閣下は此の如く御用命に依りて
御用命に依りて御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

明治三十一年八月二十一日

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

明治三十一年八月二十一日

79

26

明治三十一年八月二十一日
日發遣

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

大正大臣の御用命に依りて

拜啓陳者英國人 (Mr. Nelson) 氏
③ (Mr. Nelson) 氏 日本通譯 シノガキ
セイジ 同伴 檳榔嶼 島 口 出 航
儀 於 本月 九 日 廿 三 日 了 貴 翰 以
ウ 御 申 越 之 趣 枝 改 乘 候 右 上 書 置
大 臣 之 及 空 倉 等 又 有 書 來 事 未 詳
尋 常 之 事 下 敷 事 人 御 意 察

其 名 寄 書 道 之 趣 報
改 訂 書 冊 等 事 未 詳
御 意 察 候 事 未 詳
御 意 察 候 事 未 詳
御 意 察 候 事 未 詳

Blank lined area for text or stamps.

文書録

明治三十九年八月十八日接電

41

明治三十九年八月十八日
同日發着

主件
林大臣

在在印

德皇代理大使

林大臣

德皇官場地新地視

三條帝望ノ御

卜
夕
自

5-0401

0297

次書籍致残子、陳兵、貴國
 此情守備隊附中尉、江三子ル
 氏外特校三名、新史研究ノ
 為ノ、内沙地方、格リ方、儀、
 秋、十月三日附、第一〇一號、
 貴籍ヲ以テ、以照會ノ趣、教訓
 致、然ルニ、帝國政府、於、
 女、男、生

九月一日以後大連ハ、後航、
 八制限、撤回、之ハ、所、在、有、之
 又、周、在、内、以、外、ノ、南、滿、洲、地、方
 之、美、シ、シ、ハ、足、般、乘、之、自、由、往、來
 ヲ、許、ス、居、ノ、儀、ハ、在、格、リ、之、美、シ
 三、以、軍、事、的、設、備、ノ、所、在、地、
 除、キ、特、別、ノ、許、可、並、ニ、許、可
 卜、家、全、三



詔ヲ要セサルニト帝承命分
 取及、尤々右晴校諸氏ニ於テ
 帝國軍意ヨリ特別ノ便宜ヲ
 委付ス。帝神主ニ有テハハハ其趣
 其節ノ可及照念ノ間、老儀以
 合主古殿分比此回若若由大臣ノ
 座ニ考下向テ教意ヲ表シ致意

明治 年 月 日 起 日 發 遣

第七三拜
 第一二二号
 主 任
 主 任
 主 任

電送第 1990 號
 明 39 年 8 月 21 日 3 時 15 分 發

此ノ事ハ...
 相借地...
 九月一日以後...
 高ノ地...

義...
 子...



七月八日 横濱よりセバロ船
 和文の海運に十日の船に
 七
 船名
 一受取の船にあつた
 二受取の船にあつた
 三受取の船にあつた
 四受取の船にあつた
 五受取の船にあつた
 六受取の船にあつた
 七受取の船にあつた
 八受取の船にあつた
 九受取の船にあつた
 十受取の船にあつた
 十一受取の船にあつた
 十二受取の船にあつた
 十三受取の船にあつた
 十四受取の船にあつた
 十五受取の船にあつた
 十六受取の船にあつた
 十七受取の船にあつた
 十八受取の船にあつた
 十九受取の船にあつた
 二十受取の船にあつた
 二十一受取の船にあつた
 二十二受取の船にあつた
 二十三受取の船にあつた
 二十四受取の船にあつた
 二十五受取の船にあつた
 二十六受取の船にあつた
 二十七受取の船にあつた
 二十八受取の船にあつた
 二十九受取の船にあつた
 三十受取の船にあつた
 三十一受取の船にあつた
 三十二受取の船にあつた
 三十三受取の船にあつた
 三十四受取の船にあつた
 三十五受取の船にあつた
 三十六受取の船にあつた
 三十七受取の船にあつた
 三十八受取の船にあつた
 三十九受取の船にあつた
 四十受取の船にあつた
 四十一受取の船にあつた
 四十二受取の船にあつた
 四十三受取の船にあつた
 四十四受取の船にあつた
 四十五受取の船にあつた
 四十六受取の船にあつた
 四十七受取の船にあつた
 四十八受取の船にあつた
 四十九受取の船にあつた
 五十受取の船にあつた
 五十一受取の船にあつた
 五十二受取の船にあつた
 五十三受取の船にあつた
 五十四受取の船にあつた
 五十五受取の船にあつた
 五十六受取の船にあつた
 五十七受取の船にあつた
 五十八受取の船にあつた
 五十九受取の船にあつた
 六十受取の船にあつた
 六十一受取の船にあつた
 六十二受取の船にあつた
 六十三受取の船にあつた
 六十四受取の船にあつた
 六十五受取の船にあつた
 六十六受取の船にあつた
 六十七受取の船にあつた
 六十八受取の船にあつた
 六十九受取の船にあつた
 七十受取の船にあつた
 七十一受取の船にあつた
 七十二受取の船にあつた
 七十三受取の船にあつた
 七十四受取の船にあつた
 七十五受取の船にあつた
 七十六受取の船にあつた
 七十七受取の船にあつた
 七十八受取の船にあつた
 七十九受取の船にあつた
 八十受取の船にあつた
 八十一受取の船にあつた
 八十二受取の船にあつた
 八十三受取の船にあつた
 八十四受取の船にあつた
 八十五受取の船にあつた
 八十六受取の船にあつた
 八十七受取の船にあつた
 八十八受取の船にあつた
 八十九受取の船にあつた
 九十受取の船にあつた
 九十一受取の船にあつた
 九十二受取の船にあつた
 九十三受取の船にあつた
 九十四受取の船にあつた
 九十五受取の船にあつた
 九十六受取の船にあつた
 九十七受取の船にあつた
 九十八受取の船にあつた
 九十九受取の船にあつた
 百受取の船にあつた

△ 開校スルコトニ決意ニタルコト付テハ
 同日以後他外国ノ臣民並ニ
 船舶ノ旧ニ比シ更ニ多大ノ便
 益ヲ享有スルコトナルハキコト
 ニス、然リテ吾國臣民並ニ船
 船ノ依物候来ノ如キ製糸機
 ナル制限ヲ受ケザルコト得ザルハ
 得サレハナリ



又英新夕報、報スル如ク
露子政府、於テモ、天ノ領事
領ヲ開キ、又、同地ニ、露債銀
行、支店ヲ設ケ、シ、ルカ、如ク
コトアルニ、四平街、見書ノ存
在スル限リ、帝國政府、於テ、之ヲ
拒否セサルヘカ、ウサルコト、ナルヘク

日露兩國正シク友好ノ關係ヲ
回復シ、ソレハ、今日、於テ、斯ル
不愉快ナル事、莫ク起生シ
見、露帝國政府、甚々痛
苦ヲ感スル所ナリ、就テハ、貴
官、更ニ、外務大臣ト、會見
シ、~~鐵~~集、本件、願、書、
ヲ、

5-0401



連日、日露交渉ノ如キ現象ヲ
 生ズルニ兩國ノ親交ノ爲メ
 年々進歩スルヲ望ムルガ
 爲メ、政府ノ互省ヲ求メラル
 所致シタシ

大臣筆 No. 二六一六 (晴二八)

露都奈 廿二日後七、
 本府着 廿九日八月 廿三日後三五

林外務大臣 本野公使

次官 第 二一四号

貴電第 七三号及 第 七四号ニ関シハ
 月 二十二日 露國 外務大臣ニ面會シ
 詳カニ御訓令ノ趣意ヲ述ヘ尚可
 成速ニ露國政府ノ確答ヲ得タキ
 旨申込タル處 大臣自身ハ該覚書
 廢止ニ賛成ナルモ右ニ関スル種々ノ
 問題未ク研究ヲ了セザルヲ以テ差当

21

取調 會計 人事 通商 政務

陸軍省



リ何等回答スルコト能ハスト答ヘタリ
又貴電 弟^(信務局長)七五号ノ件ニ関シテモ御
訓令ノ趣ヲ通シタルニ付不承アルスキ
レ氏ハ既ニハフノチエフシ氏ヨリ左様
ノ電報アリタルニ付直ニ其筋へ移
牒ニ置キタリト答ヘタリ滿州鉄道
ハ今尚陸軍ノ管轄ノ下ニ在ルヤ又
何時ヨリ鉄道會社へ引渡ス豫定
ナシヤ御電報アリタシ

No. 127.

Sir,

August 24. 1898.

Viscount Kinnisaki,

The Honorable Mr. Henry Edward Pollock, Member of the Hongkong Legislative Assembly, and his wife are very anxious to obtain permission to visit Port Arthur. I have accordingly the honor to solicit your Excellency's good offices in obtaining the necessary permit from the Military Authorities.

I avail myself of this opportunity, Viscount Kinnisaki, to renew to your Excellency the assurance of my highest consideration.

Claudio Macdonald
Ambassador.

His Excellency,

Viscount Hayashi Tadasa

S. S. J. M. Minister of Foreign Affairs

24

明治二十九年八月二十五日接受

香港政府

受寄
九
號

No. 126.

Tokio,
Aug. 24. 06.

Monsieur le Ministre,

Dr. Balls-Headly, a British subject of Melbourne, is very anxious to obtain permission to visit Port Arthur. I have accordingly the honor to solicit your Excellency's good offices in obtaining the necessary permit from the military authorities.

I avail myself of this opportunity, Monsieur le Ministre, to renew to your Excellency the assurance of my highest consideration.

Candernmactomald

Ambassador.

Mes Excellency,
Viscount Hagashi Tadashi
Minister for Foreign Affairs

明治三十九年八月二十四日接受

外務省

受第 5321 號